

平成 30 年度「彩の川さんぽ」  
調査報告書

平成 31 年 3 月

彩 の 川 研 究 会

## はじめに

この報告書は、平成 30 年度に彩の川研究会が実施した平成 30 年度「彩の川さんぽ」調査の結果をとりまとめたものである。

河川においては、古くから「川下り」、「祭り」、「花火大会」など、川の恵みや特徴を活かした観光が行われてきた。埼玉県は、河川の面積が県土に占める割合が全国一位である。この特色を活かすため、埼玉県では、流域市町村と協働で、川を身近に感じ、親しみが持てるような河川整備に力を入れてきた。

河川周辺には、川に関連した文化財や歴史的土木構造物なども多い。親水ポイントや絶景ポイント、祭り、レジャー施設・公園などの観光スポットとあわせて、これらの沿川の文化財や歴史的土木構造物等を調査し、それらを結ぶ周遊ルートを例示し、五感を使って散策できる川沿いの散歩ルートととしてとりまとめ、「彩の川さんぽ」の調査報告書を作成した。

観光という視点から河川をより身近に感じ、親しみを持つとともに、文化財や歴史的土木構造物等の背景を知ることにより、県民に広く河川事業への関心と理解を深めてもらうことを目的に調査を実施したものである。

調査結果は、一般県民にも分かり易い冊子に取りまとめ、これらの成果を国や県の関係機関に提供するとともに、県内図書館等に寄贈する。また、インターネットでの公開やイベント等に参加してパネル展示や情報提供する。このことにより、広く県民に観光資源としての川沿いの散策ルートを紹介し、川やその流域への理解が深められることを期待するものである。

当研究会は、埼玉県在住の公益社団法人日本河川協会会員で構成されており、川にかかわる知識と経験豊富な会員の能力を活用して調査委員会(代表山口文平)を立ち上げ、県土整備事務所所管区域をベースに、5つの班を編成して調査にあたった。調査活動に際しては、文献・資料、聞き取りおよび現地調査を実施して、個別の調査票にとりまとめた。

この報告書に手をふれることにより、それぞれの地域の治水施設について再認識し、県民・流域住民の方々が「地域と川への理解」と「河川事業への理解」を少しでも深めていただければ幸いである。

彩の川研究会 会長  
新 井 勲

# 平成 30 年度「彩の川さんぽ」調査報告書

## 目 次

第 1 章 調査概要	1
1-1. 調査の目的	1
1-2. 調査の内容	1
1-3. 調査実施体制	1
1-4. 調査の方法	2
第 2 章 「彩の川さんぽ」のあらまし	4
2-1. 調査・整理件数	4
2-2. 「彩の川さんぽ」の特徴	9
第 3 章 地域別の「彩の川さんぽ」	14
3-1. さいたま・越谷	14
3-2. 朝霞・川越	17
3-3. 飯能・東松山・秩父	21
3-4. 本庄・熊谷・北本	25
3-5. 行田・杉戸	29
資料編 (調査票)	33
さいたま・越谷	35
朝霞・川越	68
飯能・東松山・秩父	105
本庄・熊谷・北本	129
行田・杉戸	162

## ■彩の川研究会の調査研究実績

彩の川研究会は、埼玉県内を対象に治水・利水・環境および河川文化を学習し、彩の川の川づくりに寄与するとともに、あわせて会員相互の親睦を図ることを目的に、公益社団法人日本河川協会二種正会員のうち、埼玉県内在住の会員を構成員として、平成 11 年に、同公益社団法人の埼玉県支部組織として設立された。

設立以来、下記の調査研究を実施し、その成果についての報告書を取りまとめて、国や県の河川関係機関に提供するとともに、県内図書館等に寄贈し、県民の「川への親しみ」と「河川事業への理解」を醸成することに努めてきている。平成 30 年には当研究会活動が認められ、埼玉県知事表彰を受けた。

〈彩の川研究会調査実績一覧表〉

年 度	調 査 研 究 内 容	備 考
平成 11 年	県内に残る「煉瓦造り樋管」についての調査研究	調査結果から 3 か所が土木遺産認定
平成 12 年	県内に残る「旧堤防」についての調査研究	
平成 13 年	同上	
平成 14 年	不老川および河川学習についての調査研究	
平成 15 年	県内に残る「川に係わる碑文」についての調査研究	
平成 16 年	県内の「碑文に見る川の歴史」についての調査研究	
平成 17 年	同上	
平成 18 年	県内の「川と祭り」に関する調査研究	
平成 19 年	同上	
平成 20 年	水防拠点としての「鎮守の森」に関する調査研究	
平成 21 年	水防拠点としての「鎮守の森・水塚」に関する調査研究	
平成 22 年	「川にまつわる郷土史」に関する調査研究	
平成 23 年	同上	
平成 24 年	県内の「親しみやすい水辺」に関する調査研究	
平成 25 年	埼玉県内の調節池等の役割と活用状況に関する調査研究	河川財団表彰
平成 26 年	埼玉の舟運と現在も残っている河岸の歴史に関する調査研究	河川財団表彰
平成 27 年	「埼玉県の城址と川」に関する調査研究	
平成 28 年	我が町の災害アーカイブス	河川財団表彰
平成 29 年	埼玉県内の「主要な治水施設」に関する調査研究	

※これらのデータは彩の川研究会のホームページの「これまでの調査研究」でご覧いただけます。[www.sainokawa.jp/](http://www.sainokawa.jp/)

※なお、各年度とも資料編付きの本編と資料編を除いた概要版の 2 分冊を作成しています。

## ●編集委員会

この報告書の編集は、彩の川研究会平成 30 年度「彩の川さんぽ」調査委員会のメンバーが編集委員会を開催してとりまとめた。

代 表 山口文平 顧問 小林寿朗 相談役 木内勝司、桑島弘治  
委 員 新井 勲、池田秀生、石島 威、石田喜代志、宇野 隆、久保田浩二  
小林一夫、内藤敏夫、蓮池 博、原 正明

平成 30 年度「彩の川さんぽ」調査報告書

平成 31 年 3 月

編 集 平成 30 年度「彩の川さんぽ」編集委員会

発 行 公益社団法人日本河川協会 彩の川研究会

問合せ先 彩の川研究会事務局 TEL 080-5052-6205

〒350-0001 埼玉県川越市古谷上 3577-8

※平成 30 年度「彩の川さんぽ」の調査研究は、公益財団法人河川財団による河川整備基金助成事業の助成を得て行った。

※調査票で位置図として使用している地図は、(C)OPeNBook の許諾を得た。